

スタイリッシュなスイートピー

# ‘スプラッシュブルー’ ‘スプラッシュパープル’

がデビューします



スイートピーは早春の花として人気があり、古くから神奈川県で栽培されています。花の色はピンクや紫色など淡い単色のものが中心ですが、神奈川の産地をアピールするため他の産地にはない、花卉のハケ状模様が特徴の2品種を育成しました。

白い花びらに濃い青紫色のハケ状の模様をもつ品種を‘スプラッシュブルー’、明るい紫色の模様をもつ品種を‘スプラッシュパープル’と名付けました。

2品種ともに冬咲き性で県内での栽培に適しており、年内から春先までボリュームのある切り花が収穫できます。



A ‘スプラッシュブルー’、B ‘スプラッシュパープル’

図 育成品種の切り花

表 ‘スプラッシュブルー’ と ‘スプラッシュパープル’ の花色特性と切り花品質

品 種 名	旗弁色 <sup>z</sup>	翼弁色 <sup>z</sup>	切り花長 <sup>y</sup>	小花数 <sup>x</sup>
スプラッシュブルー	黄白(濃青味紫)	黄白(濃青味紫)	46cm	5.3個
スプラッシュパープル	黄白(鮮紫)	黄白(鮮紫)	45cm	5.0個
湘南オリオン <sup>w</sup>	青味紫	明青味紫	48cm	4.7個
リップルラベンダー <sup>w</sup>	黄白(明紫)	黄白(浅紫)	47cm	5.0個

<sup>z</sup>( )内はハケ模様の色、<sup>y</sup>全切り花の平均、<sup>x</sup>全切り花の平均(1花房あたり)、<sup>w</sup>対照品種